



No. 138 (令和3年7月1日)

おもな内容

随 想	1
研修講座寸描	2
研究室だより	3
研究協力校の紹介	4
教育講演会の紹介	5
受講後調査の結果	6
心に残る授業 その83	7
人事短信 (研修センター所員紹介)	8

随
想

二枚のパレット



上川教育研修センター

所長 福家 尚

私事で大変恐縮ではありますが、父のことについて書かせていただきます。

父の趣味は絵画で、私が物心つく頃から風景や静物、家族をモデルに水彩画を描いていました。仕事を辞めてからは教

室に通つて油絵も始めました。油絵の作品は数多く、画題となつた神社や酒蔵、会館などに作品を持ち込み、先方の都合

にはおかまいなく寄贈するので、「押し売り」と家族に言われていました。

パレットは、ブリキ製のかなり古い物で、仕切りが何力所か欠けており、子

「これは小学校の時、恩師からもらった
 思ったものです。」

パレットなんだ。実は、二枚もらってたうちの一枚なんだ。」と父は言っていました。

父は小学校時代から絵を得意としていたらしく、受賞記録などを私たちに見せ、担任の先生から時に見込まれて、

御褒美にパレットをもらつた、と自慢してゐました。それが、一枚目のパレット

昭和十一年のその頃、昭和天皇の旭川市への行幸がありました。第七師団への

視察で、日中戦争開戦前夜の世相を示しておりました。旭川では、町を挙げて大元帥陛下をお迎える体制が整えられ、

早朝から小学生も全員沿道に集合です。
ところが、その朝、父はこともあろう
うに集合時刻に遅れたのです。お迎えする

に集合時刻に遅れたので、お返事で、
ことができませんでした。寝坊したそう
です。

先生はかんかに怒り、教室で大声で

怒鳴つて、褒美にあげたパレットを父に出させました。そして、父の目の前で、

みんなの前で、そのパレットをたたき壊しました。父は自分がぶたれるより傷ついたことでしょう。

何日か落ち込む日が続いたある日、先生が父を呼びつけました。そして、誰もいないところで、何も言わずにそつと紙

包みを父に渡しました。
家に帰り包みの中を見ると、それは新品のパンツでした。前にもあったパ

「それが二枚目のこのパレットなんだ。」

と父は話していました。
小学校時代からずっと何十年も使っていたのは、使う度に先生のことを思い出

すからなのでしょう。怒らなければならなかつたこと、そして二つめのパレットをくれた先生の思いを。

父にとっては大切なパレットでした。

長女が幼い頃、何故かこのノリソビな
気に入り欲しがりましたが、「まだ使っ
ているからだめ」と言われたので、

「おじいちゃんか死んだら私にちやうた
いね。」
と約束して、父を苦笑させていました。

父は六年前に他界しており、パレットは長女の物になるのですが、実家を探しても見つかりません。

父は天国にパレットを持つて行ったの
 かも知れません。そして、恩師にパレ
 ヲを見せながら

「先生、ありがとう。」
 と思い出話をしているのかもしれない。

※	4月15日	新任講師就任 研修講座講師委属状交付式
※	4月12日	講座内容研究協議会
※	5月14日	ICT実技研修講師打ち合わせ
※	6月11日	講座受講申込一次締切り
※	6月4日	入門（中止） ICT（校務のための表計算活用）（中止）
※	6月7日	【書写指導（実技）】
※	6月10日	【読書活動】
※	6月11日	【学校経営Ⅰ】
※	6月18日	ICT（ICTを活用した働き方改革）Zoom開催
※	6月15日	【特別支援教育（中止）】
※	7月1日	ICT（校務のための表計算活用／個別課題解決）
※	7月1日	センターだより第138号発行
※	随時	曜日 定例研究会会議 研修講座講師打ち合わせ会議

センター日誌



本校の学校祭は地元サンライズホテルのアウトリチ事業により、プロの演出家による指導のもと、毎年見ごたえのある演目を披露しています。昨年度はコロナ禍において、感染防止対策を十分に実施し実施しました。写真は、例年行っていた全校合唱に代わる『全校トーンチャイム』を演奏している様子です。学校祭の取組が生徒たちの大きな成長につながっています。

(土別市立朝日中学校)

研修講座寸描

研修講座内容研究協議会

四月十五日、二十六講座の講師五十二名にお集まりいただき、今年度の研修講座の講師委嘱状交付式及び講座内容研究協議会を開催しました。

交付式では、上川教育局、旭川市教育委員会の方々が列席される中、講師を代表して林 欽一講師（旭川市立神居中学校長）が上川教育研修センター組合教育委員会 黒蔵 真一教育長から、講師委嘱状を受け取りました。

その後の講座内容研究協議会は、全体会の内容を精選したり、分科会の会場を分けたりするなど、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じた上で進められました。特に分科会では、教職員等の資質・能力の総合的な向上を目指し、各講座の講師と運営者が意見を出し合い、講座の内容や日程等について話し合われました。

研修センターでは、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの蔓延状況を踏まえながら、感染拡大防止の対策を十分に講じて講座を開催していきます。受講者のニーズに応える講座内容となるよう運営してまいりますので、皆様の受講をお待ちしております。



ホットな夏、ホットな研修を

夏季休業中の研修講座申込みを随時受け付けております。クーラーの効いた当センター会場で研修を深めませんか？

受講を希望される場合は各学校等に配付されております「研修講座開催要項」の申込書をお使いいただき、研修センターのFAX（24 - 2512）にお申込みください。

開催期日	研修講座名	会場	備考
7月26日（月）	学校力向上対策	研修センター	
7月27日（火）	幼保小連携教育	研修センター	
7月29日（木）	道徳科指導①	研修センター	2日目 10月1日（金）
7月29日（木）	I C Tを活用した働き方改革講座②	研修センター	I C T実技研修
7月29日（木）	授業のためのプログラミング入門①	I C Tパーク	I C T実技研修
7月30日（金）	国語科指導①	研修センター	2日目 9月1日（水）
7月30日（金）	校務のための表計算入門②	研修センター	I C T実技研修
8月2日（月）	学校事務実務	研修センター	
8月2日（月）	学校で役立つタブレットP C入門①	旭川第3小学校	I C T実技研修
8月2日（月）	授業で役立つタブレットP C活用①	旭川第3小学校	I C T実技研修
8月4日（水）	算数・数学科指導①	研修センター	2日目 9月7日（火）
8月5日（木）	外国語（英語）指導①	研修センター	2日目 10月6日（水）
8月6日（金）	社会科指導①	研修センター	2日目 10月14日（木）
8月17日（火）	理科指導①	研修センター	2日目 9月30日（木）
8月18日（水）	生徒指導・教育相談	研修センター	

上川教育研修センター 第18次研究2年目スタート

上川教育研修センター第18次研究の2年目がスタートしました。昨年度の成果と課題を踏まえ、「主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導の在り方」について、特に評価に焦点をあてて研究を行います。皆様から多くの御意見をいただきながら研究を進めてまいります。

6月には研究員、10～11月には研究協力校2校による授業実践を行います。そして、12月のセンター発表会では、研究員による授業実践を通し、第18次研究のまとめとします。各校に御案内させていただきますので、多くの皆様の御参観をよろしくお願いいたします。

研究主題

主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導の在り方

～求められる資質と能力を育む指導と評価～

求める児童生徒像

各教科等において生きて働く「知識及び技能」を習得し、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」を高めながら、「学びに向かう力、人間性等」を身に付けた児童生徒。

研究の仮説

目標と手立てが合致した単元の指導計画及び具体的な児童生徒の姿を設定するとともに、主体的・対話的で深い学びとなる指導計画や観点別の学習状況について評価する時期や場面の精選、さらには評価方法の工夫をすることにより、教師の指導改善、児童生徒の学習改善へとつながることができるであろう。

研究内容

指導と評価の一体化

(1) 単元目標の明確化

- ・指導事項
- ・実態と他単元との関係

(2) 単元評価規準の設定

- ・内容のまとまりごとの評価規準との関係

(3) 指導計画・評価計画

- ・単元構成の工夫
- ・一単位時間における評価規準
- ・学習課題の工夫
- ・指導に生かす評価と記録に残す評価
- ・見通しと振り返り
- ・評価時期と評価材料
- ・対話の目的と手立て
- ・学習支援の手立て

(4) 観点ごとの総括

- ・見取り方
- ・判断と次時への評価の生かし方

学びの基盤

支持的風土の醸成

教室環境の整備

学習規律の確立

【研究室会議の様子】



【春季合同所員研の様子】



●●● 令和3年度「研究協力校の紹介」 ●●●

旭川市立永山南中学校

一 学校概要

本校は開校以来、教職員・保護者・地域住民の連携と協働による教育実践を礎とし、体育・文化両面において成果を上げ、すばらしい校風を樹立しました。広々としたグラウンドや校舎、大雪連峰を仰ぎ見る恵まれた教育環境は、生徒の豊かな心を育んでいます。

開校三十五年目を迎え、現在生徒数は五二九名です。これまでに培われた基盤の上に新しい教育を創造すべく、保護者の皆様や地域の方々と一体となつて、日々学校改善に努めています。

二 教育目標

『開拓』～未来を開く逞しさ～

○考える人〈創造〉 ○心豊かな人〈協力〉

○たくましい人〈根気・健康〉

三 年度の重点

「望ましい学習習慣を身に付け、学力の向上に励む生徒の育成」「自他を大切にし、互いを思いやり、協力し合う生徒の育成」



旭川市立陵雲小学校

一 学校概要

陵雲小学校は、旭川市の西北部、国道四十号線を挟んで未広地区と未広東地区にわたる住宅街に位置する学校です。

令和三年度は、学級数二十三（特支六を含む）、児童数四八六名です。子供向け合い言葉を、「やる気を出して《きらきらぐんぐん》取り組む子」とし、子供たちが自身に自分に向き合い、自ら学ぶ態度を深められるよう、日々、授業改善に取り組んでいます。

二 教育目標

「強く、明るい やりぬく子」

○進んで学び伸びようとする子（知・意）

○豊かな心とたくましい身体の子（情・体）

○よく考え正しく判断し実行する子（徳）

三 年度の重点

「自ら進んで、考え判断し行動できる子供の育成」



●●● 昨年度のセンター発表会の様子 ●●●



上川教育研修センター

教育講演会

と き

令和4年1月12日(水) 14:00～16:00

(開場 13:30 講演開始 14:00)

ところ

Zoom オンライン開催

配信：上川教育研修センター

演 題

「授業を変える学習評価
～資質・能力の育成を目指して～」

講 師

北海道教育大学旭川校 学校臨床准教授 兼
教育学部准教授
前：文部科学省国立教育政策研究所
学力調査官・教育課程調査官

山 中 謙 司 氏



【講師紹介】

- ・北海道教育大学旭川校 学校臨床准教授 兼 教育学部准教授（平成30年4月～）
- ・令和元年度 文部科学省国立教育政策研究所 評価規準，評価方法等の工夫改善に関する調査研究協力者

【主な著書】

- ・明治図書 アクティブ・ラーニングを位置づけた小学校理科の授業プラン（編著）
- ・東洋館出版社 イラスト図解ですっきりわかる理科（共著）
- ・東洋館出版社 板書で見る全単元・全時間の授業のすべて 小学校6年理科（編著）

教育界には課題が山積しております。ぜひ「教育講演会」に御参加いただき、お一人お一人が抱える課題の解決に努めていただければと考えております。多数の皆様の御参加をお待ちしております。

Webサイトを御利用ください！

<http://kami-cen.hs.plala.or.jp/>

今年度の講座一覧や要項・申込書，研究紀要等がダウンロードでき，過去の研修講座の様子やセンターだよりを見ることもできます。また，センターで所蔵している資料名を閲覧できるので，お探しの資料があれば貸出しすることもできます。さらに，施設の使用や宿泊についても詳細を見ることができます。ぜひ，御活用ください。

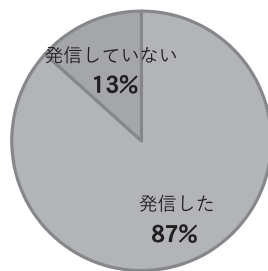


令和2年度受講後調査の集計結果 ～御協力ありがとうございました～

当研修センターでは、研修講座の受講後2～3か月を目処に御回答いただく「受講後調査」を実施しました。お忙しい中にもかかわらず御協力をいただきまして、ありがとうございました。令和2年度の結果をまとめましたので、お知らせいたします。

設問1 研修終了後、児童生徒や同僚教職員、他の学校の教職員等に研修成果を発信することができましたか。

研修成果の発信について

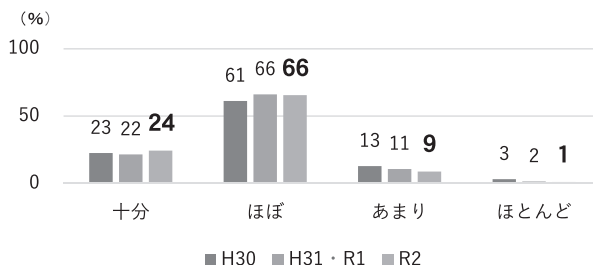


研修の成果について、多くの方に活用していただいております。

今後も研修の成果が、受講者はもとより、広く教育現場に生かされるような講座運営を目指し、工夫改善してまいります。

設問2 研修終了後、自校や校外研修会等で、研修内容を活用し、自己の指導内容や方法の工夫改善ができましたか。

研修の活用・指導の工夫改善について

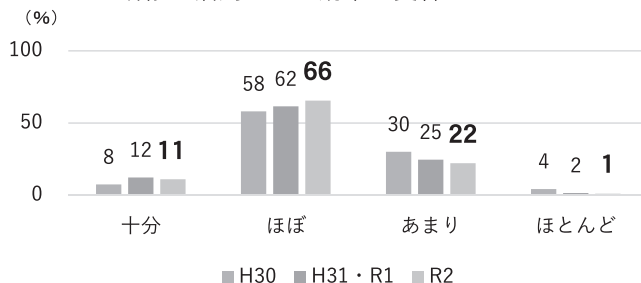


「十分みられた」、「ほぼみられた」を合わせると、90%の受講者から自己の指導内容や方法の工夫改善ができたという回答をいただきました。

今後もさらに多くの皆様が実践に生かすことができる講座内容となるよう努めてまいります。

設問3 研修内容を広げたり活用したりした結果、児童生徒や対象の教職員に効果や変容がみられましたか。

研修の活用による効果や変容について



「十分みられた」、「ほぼみられた」を合わせると、77%の受講者から効果や変容がみられたという回答をいただきました。反面、23%の受講者には効果や変容が顕著に表れなかったということになります。

今後もアンケートの内容などを生かし、効果的な研修内容となるよう、検討してまいります。

講座の成果を推し測り、受講された皆様の御意見をより多く反映するため、受講後調査への御協力をお願いいたします。

今年度も受講後2～3か月を目処に、当研修センターWebサイト上で、御回答ください。タブレットや携帯端末から簡単に御回答いただけます。

「受講後調査」QRコード



※この調査は、受講後、約2～3か月を目処に入力してください。
※左のQRコードをスマホなどで読み取ると回答できます。

(google フォーム 外部リンク)

各種資料の御活用を！

当研修センターの1階には、各種教育雑誌や各出版社の教科書を、3階には、道内はもちろん全国各地の教育関係広報紙や研究紀要、教育雑誌のバックナンバーなどを保管しています。蔵書資料は貸出しも行っていますので、ぜひ御活用ください。なお、所蔵資料リストは当センターWebサイトからも御覧いただけます。



心に残る授業

その83

旭川市教育委員会
教育指導課主査

角地 祐輔

今回、紹介させていただくのは、中学校第二学年数学科「多角形の内角の和」の授業です。本授業の目標は、「帰納的に考えることを通して、多角形の内角の和の求め方を理解する」ことでした。

授業の導入では、「多角形の内角の和は何角形まで求められるのだろうか」という発問に対して、六角形、十角形など具体的な多角形を予想する生徒が多い状況を見取った先生は、ノートに「無限」と書いていた生徒を意図的に指名して考えを取り上げ、複数の生徒に問い返ししながら、生徒たちの課題意識を高められるよう働きかけました。

また、課題を解決する場面では、生徒の「十角形は一四四〇度だった!」などの発言から、何度かという結果だけに目が向いている生徒が多い状況を見取った先生が、「どうしてこの式で求められるのだろう?」と式に着目さ

せるよう発問したことがきっかけとなり、式と図を関連付けることを通して、多角形の角の数と多角形を分割してできる三角形の数の関係を見だし、内角の和の求め方について理解を深める学習活動が展開されていました。

そして、課題の解決後には、先生は、「〇〇角形ならどのように求めたらいい?」と発問して生徒全員に式を書かせることにより、生徒が求め方を理解できているかを見取り、生徒一人一人の定着の状況に応じた指導を行うとともに、授業の最後には、「今日の授業の中で、これまでに学習した内容を生かすことができたことや、これからの学習で大切になると思ったことはあるかな?」と問いかけ、生徒が本時の学習活動を振り返りながら、学習内容のつながりを感じられるように働きかけました。

私がこの授業を参観させていただいたのは、もうかなり前のことになりましたが、本授業では、学習状況を適宜把握して、状況に応じた働きかけが行われており、どの生徒も、生き生きとした表情で、見通しをもって粘り強く考え、学んだことを実感している様子が見られるなど、まさに、今求められている授業そのものであったと、深く心に残っています。

「出前講座」を御活用ください!

教科指導をはじめ、生徒指導・特別支援教育・今日的な教育課題・ICT活用・各種実技指導など、各学校の校内研修や教育研究団体の様々なニーズに合わせて、選りすぐりの講師を派遣しています。ぜひ、御活用ください。

申込は、随時受け付けております。「研修講座開催要項」27ページに掲載しております「出前講座申込書」に必要事項を御記入の上、直接当センターへFAXで送付してください。

【講座内容例】

教科等指導（国，算等）	指導計画，評価，言語活動等，校内研究にかかわる事項等
ICT実技	タブレットPC活用，ICT活用，メディアリテラシー等
各種実技指導	器械運動（体育），図工（木版画），毛筆（書写）等
特別支援教育	各種発達障害の理解，個別の支援計画，交流および共同学習等
生徒指導	構成的グループエンカウンター，教育相談，カウンセリング等
今日的な教育課題	学校力向上，道徳，外国語（英語），幼保小連携，小中連携等

上川教育研修センター所員紹介

新任

事務部長
北澤 克康

約二十年ぶりで教育に関わる仕事に携わることになりました。センター御利用者のお役に立てるよう努めてまいります。

研究事業部長
北島 裕二
(旭川市立知新小)

上川管内の学校や先生方に活用していただける研究を発信できるよう尽力してまいります。よろしくお願いいたします。

指導員
平井 佐知
(旭川市立青雲小)

研修講座や出前講座が皆様にとって有意義な講座となるよう、努力してまいります。よろしくお願いいたします。

研究員
近田 泰斗
(旭川市立北光小)

自らも学ぶことを忘れずに、少しでも多く上川管内の学校や先生方に御活用いただける研究を発信できるよう努めます。

研究員
三上 貴也
(旭川市立中央中)

各学校や先生方に御活用いただける時代に即した研究を目指し、尽力してまいります。よろしくお願いいたします。



所員

所長

福家 尚



副所長

伊東 義晃



事務係

笹谷 青子



事務係

上光さゆり



指導員(旭川市立高台小)

森 走平



指導員(旭川市立北星中)

加藤 慎司



指導員(旭川市立旭川第三小)

上村 純一



研究員(鷹栖町立鷹栖中)

村越 恵一



研究員(旭川市立永山西小)

小林 豊



研究員(美瑛町立美瑛東小)

石塚 大輔



研究員(旭川市立東明中)

久保田竜平



退任 お世話になりました。

・前事務部長

花香 純夫

・前研究事業部長

工藤 秀敏 (旭川市教育委員会)

・前指導員

山中 芳子 (美瑛町立美瑛小学校)

・前研究員

吉野 和気 (旭川市立永山南小学校)

・前研究員

斎藤 邦彦 (旭川市立永山小学校)

発行日 令和三年七月一日
発行 上川教育研修センター
〒〇七〇—〇〇三六
旭川市六条通四丁目責任者 福家 尚
印刷所 谷川印刷株式会社
電話(〇一六六)二四二五〇一

※この用紙は再生紙(古紙70%)を使用しています。